

サカタニ・友の会

2005年・第10号・Vol.75

とんからりん

2005年11月4日・集・西・楽 (株)サカタニ

075-561-7974 fax 075-561-6710

ファミリーマートサカタニ京阪七条店・075-561-0162

ホームページ・URL <http://www.sosake.jp>

会員の皆さま。朝粥食べておシャベリ会

11月は定例とおり第3日曜にいたします。

20日(日)9時スタート終了10時30分

11月はご近所の松永俊治様の

「アメリカ滞在体験記」をお話いただきます。

参加費 200円(会員さん)300円(会員以外)

必ず前日までにご予約をお願いします。

集・西・楽・(株)サカタニ・ファミマ京阪七条・

メール・E-mail info@soasake.jp

今年(2005)は、 一人勝大流行

来年は消費税が憲法の年になるの?

今年はチョットへんなことが
続々と起っている。

多くの方が想像だにできなかった
「降って湧いた解散」で総選挙。

「郵政」「郵政」「郵政」とだけ繰り返して聞いている間に、何時の間にか小泉自民党とその勢力が「優勢」になり、3分の2を越える議席を手にしてしまった。

言葉使いの大切さも知らない・議会は欠席し営業の集会出现・赤坂の宴会が楽しみ・な人達が議員先生になった。その議員の集まりは小泉チルドレンと言うそうだ。これでは劇場ではなく田舎芝居、台詞も所作も演出家の思いのまま。でも文句を言う元気な議員もないようだ。

チルドレンに投票した人のお顔を
見たいものだ。何考えているの!

菊花賞では大本命の「ディープインパクト」が無敗で3冠馬になった。無敗で3冠を達成したのは史上2頭目とのこと。440キロという競走馬では小柄の方で、2002年7月の「競り市」は14頭中の下から4番目の価格7千万円で落札された馬だとか。京都競馬場は単勝馬券100円返し、一瞬でも「勝組になりたい」気分なのか、この馬券を買った人の多さには驚いた。

甲子園の夜、黄と黒縞の旗と六甲嵐の歌声と大歓声が轟く。大観衆の見守る中で阪神タイガースのマサカの4連敗。ロッテのバレンタイン監督が敵陣甲子園で宙に舞った。

お祝いにロッチェチョコレートの大判振る舞いが有るのかと期待したが、来年のバレンタインデーになるのだろうか? その頃はキットみんなロッチェが日本シリーズチャンピオンになったのを忘れて他社のチョコレートを買っている。

阪神4連敗は、村上何某の騒ぎに影響されたのでは無かるうが? 藤山寛美にどこか似たタイガースの監督、選挙で議席を大量に減らし辞任した民主党の党首共、お二人の良い笑顔をテレビで余り見られなかった。どちらも「岡田」とは偶然にしては出来すぎ。「笑顔」があれば展開は変わったのではと思う。

日本も4:0ならアメリカの大リーグも「ホワイトソックス」が4連勝で80数年ぶりにチャンピオン。この冬は白い靴下がハヤリでしょう。

選挙、競馬、野球、どれもある意味では勝負ごと負けたら終り。

「勝てば官軍、負ければ賊軍」と言うが「奢る平家は久しからず」とか「負けるが勝ち」の諺もある。

とんからりん

平成7年5月創刊し10年余経過しました。今回で75号です。読み返しますと一人よがりの記事や商売の宣伝も多くおもしろいものです。この間色々な出来事に遭遇し、何度か発行をやめようと思ったこともあります。

そんなときに限って道で出会った会員さんから「とんからりん、読んでもるえ」と声をかけられます。

根が「オチョコチョコイ」で「おだてられると「乗りやすい」性質で今に至りました。

1人の勝ちの後ろには数千の負けたものがある。

然し歴史は常に勝者の立場から綴られてきた。その勝者にしても何れは負ける。ナポレオン、ヒットラー、スターリン、蒋介石、あの織田信長もそうだ。

時が経ち、長いスパンで見ると最終的に勝ったの《勝》は支配者でなく数の多い被支配者と思う。

恐竜は絶えネズミは残った。人間が絶えてゴキブリが残り、蟻が天下(地球)の最後の勝者になるかも知れない。今、地球での勝者は人類、勝者と奢って20世紀の犠牲と反省を忘れると、異常な事態が起るかも知れん。大地震、ハリケーン、異常気象、それらは再生産できない地球の資源(石油石炭)を使いすぎた天罰の様に思えてならない。今は勝者の人類でも能力は無限でない。地球の生きとし生きるものが自然のまま生きる青い地球は「ガガーリン」でなくても残したいと願うだろう。とにかく今年は大変な年だった。来る「戌年」よい年であれと願う。

来年1月紙面大幅

現在は最大時の35%の読者数、自分でも絵も写真も無い、味の無い「面白くないとんからりん」で仕方がないと思っていました。

10月の当社のホームページ改造の中で「新しいソフト」を見つけこれを使えば少しは「面白く」出来るかもと勉強に入りました。

何せ70歳を過ぎての手習い、どうなるか自信は有りませんが、1月に目標のガンバリます。今の悩みは**読者の投稿と会員さんが少ない**こと。皆さんのお力をお貸しください。

ご投稿・会員さん増加に協力を!

ヨシイちゃんのヒトリゴト

ヤッと半世紀前が
終わった！

福田静二さんの京都市電写真展を見に来た女性が私に会いたいと言う。会場の「集」へ行くとM嬢がいた。

彼女は私がまだ高校生の頃、店で事務員として勤務していた人だ。私より数歳上だがその頃の面影を多く残していた。(お世辞)

結婚され、子育てをおえた「おばあさん」だが「博物館に来たので立ち寄った」と元気に話す。勤めていた同僚先輩の人の名前を次々出して消息を尋ねられたが、その人たちは殆どが鬼籍に入った。

M嬢といってもエエオバアサンだが、「宗男ちゃんはどうしてはる」と尋ねた。「今は常務で手伝っている」と会わせた。

「宗男ちゃんエライ変わったなア、あの時分は可愛かったのに」と目をむいた。彼はその頃昭和保育園児だった。もう50年以上過ぎてる変わって当たり前やんかと皆で大笑い。「Yさんは」と聞く、Yさんとは父が経営していた酒問屋経営が破綻その整理を手伝ってくれた人のこと。消息は知らないが恐らくお亡くなりだろうと言った。

M嬢がYさんを覚えていたことも驚いたが、その「Yさん」の書いた書類が三日前戻ってきていた偶然にビックリした。

貞教国民学校・昭和21年卒生
同窓会が開催された。

去る10月30日リーガーロイヤルホテルの最上階(回転展望台室)で会は開かれた。卒業時、6年の女性組担任だった櫻井麗子先生と26名が集まった。少年少女時代戦前の軍隊式教育と疎開、敗戦の混乱期を共生、老年になっても団結力旺盛でここ数年毎年開催、100歳まで続くか？

その書類は、三重県上野の酒造会社から封書で届けられた。中には「株式会社酒谷本店」の株券と父の経営していた個人商店酒谷本店が、破綻整理の際債権者団に土地家屋家財道具一式担保に差し出した「公正証書」が入っていた。債権額11,281,364円。債権者は朝日麦酒株式会社他5社と書かれている。

封筒には公正証書の他に「Yさん」手紙が有り署名もして有った。

50年以上前の破綻債務は、父と私と酒問屋会社の後を引き受けた法人で返済したが、三重県の一社だけそれが出来ず未処理になっていた。父の死後一度訪れたが解決には至らなかった。最近年の所為かこれが気になり、今年7月三重県上野の

強く、美しく

京都競馬場で開催された菊花賞レースで、ディーブインパクトが予想通り一着になった。

シンボリルドルフ以来21年ぶりの史上2頭目の無敗3冠馬だそうである。最後のコーナーで5馬身差のあった先行馬をぐんぐん追い抜き、トップでゴールイン。負けてばかりいるハルウララもかわいかったけれど、強い馬はやっぱり美しい。勝ち組負け組という言葉は好きではないが、馬に限っては許せるような気もする。馬はお金のために走っているのではないことは明白である。ならばなぜ走るのか。走るために種付けされ、何代もの血統をうけついでいるのだから、その習性なのだろうか。隣にほかの馬が並ぶと俄然走り出す負けん気の強い馬がいるときいたが、馬はともかく、人間にはやたら妙な闘争心を煽ってもらいたくない。ある水泳選手がインタビューで、「私は他人と競争しているのではなく、自分のタイムと競争しているのだ」というていた。自分との戦いを挑むような哲学的な馬がいるとは信じられないが、ウィングランでターフを一周する馬は、自分が勝ったということをごれほど理解しているのだろうか。

酒造会社に、父の代の債務と株式の処理に訪れた。先方のご主人はお亡くなりで、ご息子が酒蔵を継がれていた。ご息息と円満にお話し合い半世紀前債務の返済は完了した。ご仏間にご案内いただきご先代ご夫妻にお詫びした。随分親しくして頂いた豪快なお方だった。

当日、突然の訪問で中々お会い出来ず、時間調整に上野城内にある松尾芭蕉館を拝観した。ヨシイちゃんのヒトリゴトで「へその緒に泣く年の暮れ」の芭蕉の句を知ったのはその時。半世紀前の「店の人」訪ねてくれ、半世紀前の書類が戻ってくる。酒屋を続けていたこと、集西楽というスペースがあつてよかったとヨシイちゃんは思った。

ところでこのレースの単勝配当金は100円だそうで、菊花賞歴代最低額にもかかわらず、その馬券をお守りにしたり、ネットで高く売買する人が多いそうだ。私も古い一枚の馬券を大切に持っている。二十年ほど前、京都競馬場へ行ったときに、その名前に惹かれて初めて買った。アスコットデュールという馬で、騎手はまだデヴュー間もない武豊だった。当時『アスコットの風』という少女漫画の原作を書いていたので、その馬に夢を託したのだ。100円が500円になったが、払い戻しせずその馬券を持ち帰った。その原作はまだ形になっていないが、いつか馬券が叶えてくれるような気がしている。人は馬に自分の人生を重ね、夢を託す。競馬にはもちろん巨額のお金がからんではいるが、強く、美しく走り抜けるその姿にも、あやかりたいものである。

(酒谷 佳子)

第2回・駅伝ライブ

ユニセフ

ハンドインハンド協賛
12月4日(日)楽々ホールで
12時半～夜9時まで

12ユニットの音楽グループが、タスキをリレーして演奏します。500円の参加協力金はユニセフ寄付金です。同封の券は招待券ではありません。

予想 来年は確定？
ビールは苦くなり
再来年は酒が辛くな

戦前戦後ビールは「ぜいたく品」という見解でビールの酒税率は最高でした。それから60年、日本の経済発展とともにビールの消費はドンドン増え、全酒類の半分以上飲まれて「とりあえずビールで乾杯」と言われるこの頃です。

ところが、大蔵省(財務省)は60年前の「ぜいたく品」で高かった酒税率は殆どそのままにして来ました。日本人は世界一高い(税率)ビールを飲んでいるのです。ビールの税金は原価より高いのです。

ビール会社らはお客さんの事や他国との比較で本来なら高率のビール酒税を下げる運動をするべきところを、売れ行きの好調さで忘却していたのでしょうか。

お客さんの嗜好の多様化で「缶チューハイ」などの低アルコール飲料(発泡酒税率)がビール税率で値段も高い隙間を狙って販売され、ビールの販売の伸びが落ちました。更にバブル後の不景気、賃下げなどでそれが加速します。

元々日本のビール会社は巨大資本、大工場、大量生産と高技術を持っており、麦芽豊富な「ビール」の売れ行きの落ち込みを税率の低い、麦芽を減らした発泡酒を、更に麦芽を使わないビール系飲料(第三『者』のビール)を開発、販売し出しまし

た。その結果「ビール」愛飲家がこれらのアルコール飲料を飲むようになり酒税収入はダブルパンチで減りだしました。

谷垣さんは慌てだし酒税増税案(酒税法改正案)が検討されだしました。先の選挙で圧勝した『小泉改革推進内閣』が検討と言い出したらもう決まったと同じでしょう。アキラメましょう？か。酒税が上がるとその酒税額が消費税の対象ですから「ビール」が更に上がります。酒税の上に消費税がのっているマサに二重課税の標本。

集西楽サカタニ
見どころ・聴きどころ
11月分

芸術の秋、音楽の秋と、この季節は人の心を本当に豊かにする季節。11月も素敵なイベント満載です。

ギャラリー喫茶「集re」では、京都女子大学教授の「**出井豊二先生**の作品展」を行っています。出井先生は京町屋のはり絵で京都・大阪・奈良・神奈川・イギリスなどで意欲的に個展を開催されてきました。今回は集西楽が酒屋を併設ということもあり、造り酒屋さんの作品を中心に展示していただきました。松本酒造様・増田徳兵衛商店様・堀野酒造様などの佇まいをはり絵で表現されています。観る人がほっとする素敵な作品ばかりです。どうぞ鑑賞下さい。11月25日まで

来年からほろ苦い「ビール」旨さのは懐に應える程「ニガク」なるでしょう。

小泉さんは任期中「消費税をあげない」公約をされています。任期(人気)は来年9月まで、あとはチルドレンでなく、「麻垣平(馨)三」の小泉ブラザーズが任させられるらしいと評判です。その誰になっても「消費税税率アップのDNA 遺伝子」を沢山お持ちですから、来年は無理として再来年は「酒税」に掛けられる消費税分「お酒は辛くなる」でしょう。

聴く人も演奏する人も元気になるライブ。それが**J-MAC '65**のライブです。GS・J-POPSなど、60年代以降のヒット曲を中心に演奏いたします。元気があったあの頃を思い出し、楽しいひと時を過ごしてください。

(11月13日(日)19:00スタート)

今年も**ボージョレー・ヌーヴォー**の解禁日が近づいてきました。今年も天候に恵まれ、よい出来具合との情報を得ています。今回は**試飲と音楽会でお楽しみ**いただきます。

試飲はサカタニ厳選の輸入ヌーヴォー5 アイテムと国産ヌーヴォー2 アイテム、音楽はソフトな声で聴く人を魅了する宮原春彦さんといろんなジャンルの音楽を演奏できるマルチピアニスト西野桂子さんと**ユニット「彦兵衛&あんみつ姫」**。このシーズンにふさわしいスタンダード・ナンバーでお楽しみいただきます。(11月18日(金)19:00スタート)

「朝粥食べて、おしゃべり会」ではご近所の松永俊治さんに「アメリカ滞在土産話」と題して、ビデオを見ながらアメリカで体験されたお話を聞く。

(11月20日(日)朝9時~)
楽々落語会・
(11月16日午後7時開演)
歌声喫茶 楽々悠々市・
(11月27日11時~18時)
音の風。音楽茶会
(11月27日19時30分)

2005・ボージョレーヌーヴォー
試飲と音楽会

日・11月18日(金)18時30分開場
出演・宮原春彦・西野桂子
(彦兵衛&あんみつ姫)

催し・ワイン試飲・おつまみ付

会費・前売・予約 3000円
当日・3300円 ご予約は
会場・楽々ホール 561-7974 迄

集re 喫茶ルーム 入場無料
~11月25日(金)

京町屋はり絵展

出井 豊二 作品展
酒造家町屋の作品展示

集re 喫茶ルーム 入場無料
・11月26日(土)~

竹 あかり
廣瀬佳明写真展

地図カンパ物語 の次は

酒屋で生きて

「まるたけえびりにおしあいのね

(予告編)まえがき

連載の看板地図物語は前号で終了、次に何をと悩んだ末「酒屋で生きて」と題したものを書くことにしました。正月号から「とんからりん」紙面を大幅に改良を予定していますので、本編はそれから始まりです。今回は「まえがき」です。

藤森神社近くに祖父の伯母「おしげばあさん」が暮らしていました。90歳を越しても至極元気で七条の店に来ると、幼い私を川端七条の「力餅？」(現在のオランダさんの所に有った)に連れ出し「アンコ餅」をご馳走してくれました。

「ワテに娘のころドンド焼けで京が丸焼けになってなあ。灰が伏見まで飛んできたんや」と昔話をするのです。2年生の私は「アンコ餅」に夢中「へえそうか」と上の空でした。私の小学5年生の頃96歳で亡くなりましたから、生まれは1848年(嘉永)のころでしょう。

今から思うとドンド焼けの話は文久3年(1863)[蛤御門の変]のことなのです。長州と会津薩摩(徳川方)の戦はたった日で終わったが、京の町は三日三晩燃え続けたのです。

京の中心部はほぼ全焼して、罹災者用住宅の長屋が「川東」(下堀詰町辺り)に有った京都所司代の役宅、木村屋敷横に多くの建てられたそうです。(真偽は?)

「おしげばあさん」も当時花も恥らう15歳、坂本竜馬、桂小五郎、近藤勇たちと同じ空気を吸って生きてきた人なのです。

祖父母もよく昔話をしましたが、日露戦争、東山トンネル工事、米騒動、大正から昭和初期の近代史はその話の中です。父からは兵隊時代の話の少し、それ以後は私自身が経験した、戦前戦後から21世紀の今になって来るのです。

その私が自分の聞いたことや経験を孫に話し、孫が又その孫に伝えると、私を中継して、前後150年

程、およそ300年程の歴史を話し言葉で耳に聞き、知る事になります。

幼い時、祖父母や近所の人から聞いた話は比較的忘れないものです。幼児の頭は柔らかに素直に脳にしみ込むのでしょうか？

私は酒屋で生まれ酒とかかわりながら70歳を越える今にいたります。前号のとんからりん「酒屋大変」と文を書きましたが、古くからの酒屋さんが次々と廃業されています。時代が変わったからということでしょうか淋しいことです。酒屋だけでなく、米屋、乾物屋、煙草屋、魚屋など「屋」のつく商売人

集 Re サカで開催した
福田静二写真展
終わる。

2005年10月23日まで、ギャラリーカフェ「集」で福田静二写真展に「京都市電」を懐かしむ多くの人が見にいられています。ご近所の方、友の会会員さんも多く来て下さいました。ご来場の方々は作者福田静二さんに「写真展の感想」を書いて下さいました。その中に「m・y」さんが9月27日に福田静二さん宛に書かれたものを転載します。

既に、私どもの「ホームページ」の「ヨシちゃん」のブログに掲載しましたので読まれた方にはゴメンなさいです。

市電が走った七条通

懐かしい本当に～なつかしい写真の中の市電の姿を目にして胸が熱くなり涙があふれました。

市電が京都の街から去ったあの頃
高校生でした。
京都の街に似合う市電の
のんびりとした姿が
大好きでした。

高石ともやさんの“街”という歌の・・・大學通り 流れる川 走る路面電車・・・の歌詞が今でも大好きでこのフレーズをうたうたびに涙がでそうになります

が押しなべて減りました。

ヒョットするともう何年かすると「酒屋」てなに？といわれることになるかも

判りません。戦前、戦中戦後～今まで小売も卸も呑み屋も営みながら幅広く酒で生きてきた者「生かせて」戴いたものとして時々酒屋の姿を書いてみようと思ったのです。孫や子供に昔話をすると又～と言う顔をするか「上の空」私もそうだったのだから、孫達への手紙のようなことに成りそうですが・・・年寄りの書き物、独断偏見少々の誤りは許されると嬉しいのですが

市電に会いたくなると、図書館は行き市電の姿を本の中で見てなつかしんでおりました。今日はこんなにたくさんのなつかしい写真に出会えて、とても幸せでした。ありがとうございました。

9月27日 「m・y」
この他沢山お方が、懐かしいとのコメントを寄せられました。作者の福田さんも喜んでいただけで私が元気を貰ったようだと感激されていました。

楽々ホール・ピアノ
常設しました。〈88鍵〉

貸ホールの「楽々」にピアノが入りました。姪が使っていたものを無理やり「楽々」に運び込んだものです。ホールでお手軽にコンサートや合唱会などが出来ます。ご利用を
新ホームページを見て

URL <http://www.sosake.jp/>です。まだ一部工事中ですが、イベントの記録と案内とんからりんの発行済のもの、ヨシちゃんの「ブログ」は動いています。更に売り出しや新製品案内など充実を目指しています。是非見て下さい。

貴方のメールアドレスを知らせてEメールで一斉にお知らせや案内を送信しています。貴方のアドレスを
当社の info@soasake.jp まで
お知らせください。

現在は最大時の 35%の読者数、
自分でも絵も写真も無い、味の無い「面白くないとんからりん」で仕方がないと思っていました。

10月の当社のホームページ改造の中で「新しいソフト」を見つけこれを使えば少しは「面白く」出来るかもと勉強に入りました。

何せ70歳を過ぎての手習い、どうなるか自信は有りませんが、1月に目標のガンバります。今の悩みは「読者の投稿と会員さんが少ない」こと。皆さんのお力をお貸しください。

ご投稿・会員さん増加に協力を！